

3. 大学からの学術情報発信

(1) 国立大学における学術情報発信の分担状況

発信情報	部署		情報処理関連施設		学部 研究科 研究所 センター		大学広報室 等		研究協力課 (係)		合計 (大学数)	
	紙	電子	紙	電子	紙	電子	紙	電子	紙	電子	紙	電子
大学としての情報発信についての企画・調整							88		1		89	
学内で開催される学術的活動の案内	4	3	5	4	56	44	21	27	10	10	71	65
学位論文(全文)	13	6			49	2	5		1		66	8
学位論文(抄録)	5	13		1	38	8	20	1	4		65	22
紀要、学術報告(研究報告)等	32	2	6		63	5	5		7		91	7
科学研究費等の研究報告書等	5	4	2		27	4	6		51	1	81	9
研究成果目録	1	3	1	2	21	10	13	7	12	7	47	27
研究成果(ファクト情報)			1		13	7	2	1	4	1	19	9
特許、実用新案等					6	2	1		13	5	20	7
研究者ディレクトリ	1		1	4	11	14	32	25	22	17	64	55
シラバスなどの教育情報		1	1	1	55	36	10	10	1	2	66	49
附属図書館の目録所在情報	35	99	1	1	1						37	99
図書館資料(貴重書を含む)の電子化		58		1	1						0	57
学内にある博物資料などの目録所在情報	5	3	1		7	7	1	1			14	11
インターネット資料へのアクセス情報・ナビゲーション	14	61	1	7	1	7	3	9		1	18	69
生涯学習の支援を意図した教材の公開		1			12	5			2		14	6
生涯教育の支援を意図した研究成果の公開		1			17	3	3	1	3	1	19	6

国立大学図書館アンケートによる(99大学回答)

同一の発信情報を学内の複数の部署が発信している場合があるため、部署ごとの合計と「合計(大学数)」とが一致しない場合がある。

(2) 大学図書館における電子図書館的機能の整備状況

大学図書館における資料電子化の現状

区分	全大学数	一次情報						電子的 目録の 整備	ホームページの 開設		
		電子化 している	具体的な内容						電子化 していない	開設 している	開設 していない
			一般 図書	貴重書	雑誌	学内 生産物	その他				
国立大学	99	51	2	26	4	26	14	48	99	97	2
公立大学	72	10	4	3	4	4	2	62	67	53	19
私立大学	650	67	26	29	18	33	13	412	426	333	146
合計	821	128	32	58	26	63	29	522	592	483	167

(出典: 文部科学省「平成12年度大学図書館実態調査結果報告」)

国立大学における電子図書館の概要

ア. 電子図書館システム経費(奈良先端科学技術大学院大学)

マルチメディアの進展に対応した図書館機能高度化のモデル図書館として、すべての資料を電子化して利用者に提供する電子図書館システム。

イ. 電子図書館化推進経費(筑波・図書館情報・東京工業・京都・神戸大学)

各大学の特色をいかしつつ、従来型の図書館に電子図書館機能を付加する形で機能の整備・充実を図る事業。

ウ. このほかに、平成12年度補正予算において電子図書館的機能を整備するための経費を10大学に設置(東北・千葉・東京・東京学芸・一橋・大阪・広島・九州・佐賀・鹿児島大学)。

(3) 国立大学の情報処理関連施設

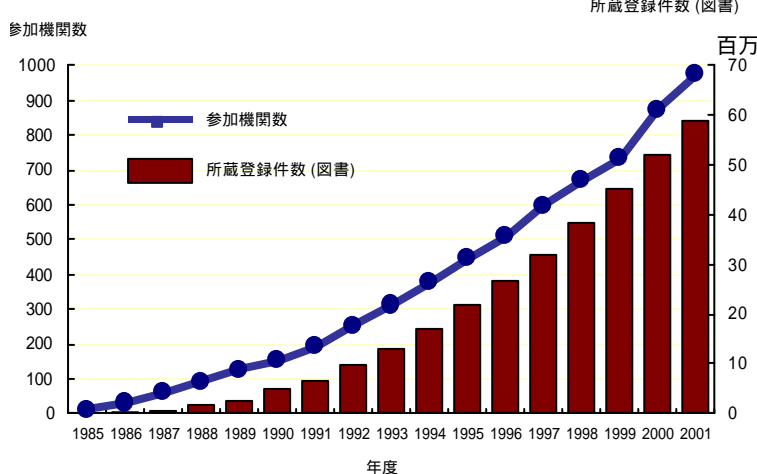
設置形態	名称	施設数	主な役割・機能
全国共同利用施設	情報基盤センター	6	スーパーコンピュータ等を保有し、高度な科学技術計算・データ処理、データベース等のサービスを提供する。 (学内及び学外向け) 電子図書館の運用支援、学内LANの管理・運用、情報処理教育の支援を行う。(学内向け) 上記業務に関連する研究開発を行う。
	大型計算機センター	1	スーパーコンピュータ等を保有し、高度な科学技術計算・データ処理、データベース等のサービスを提供する。 (学内及び学外向け) 学内LANの管理・運用を行う。(学内向け) 上記業務に関連する研究開発を行う。
学内共同教育研究施設	総合メディア基盤センター等	6	スーパーコンピュータ又は大型汎用コンピュータを保有し、高度科学技術計算、データ処理、データベース等のサービスを提供する。 電子図書館の運用支援、遠隔教育支援、学内LANの管理・運用、情報処理教育の支援等を行う。 上記業務に関連する研究開発を行う。
	総合情報処理センター等	30	大型汎用コンピュータ等を保有し、科学技術計算、データ処理、データベース等のサービスを提供する。 学内LANの管理・運用、情報処理教育の支援を行う。
特別施設(学内共同利用)	情報処理センター	46	汎用コンピュータを保有し、科学技術計算、データ処理、データベース等のサービスを提供する。 学内LANの管理・運用、情報処理教育の支援を行う。

施設数は平成14年度(予定)

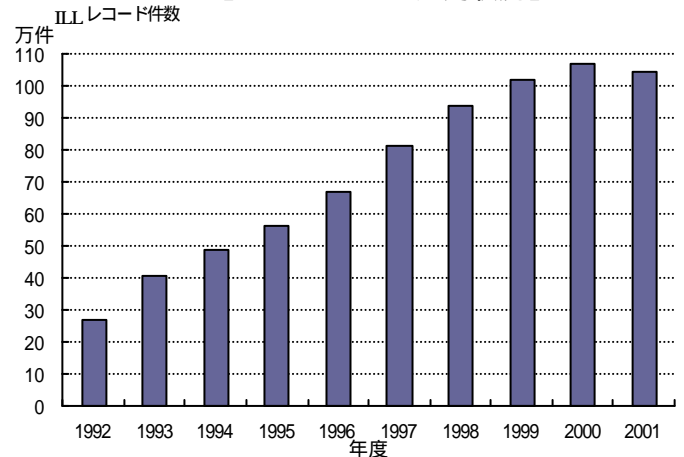
(4) 目録所在情報サービス(NACSIS-CAT及びNACSIS-ILL)

我が国の大学図書館等に所蔵されている学術文献(図書・雑誌)に関する総合目録データベースを構築する目録システム(NACSIS-CAT)及び図書館間が学術文献を相互利用するための連絡業務を支援する図書館間相互貸借システム(NACSIS-ILL)から成る。参加図書館が共同分担して目録所在情報を登録することにより、総合目録データベースの構築が行われている。

【目録システムの運用状況】



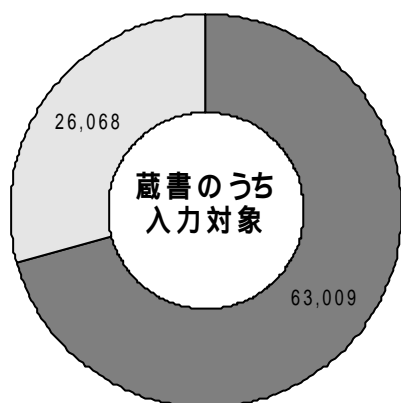
【ILLシステムの運用状況】



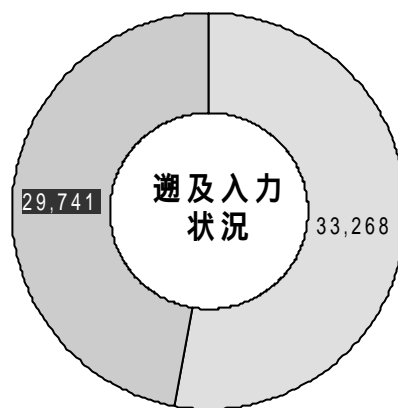
【国立大学蔵書目録情報の遡及入力状況について】

(平成 12 年度末現在、単位：千冊)

入力対象冊数		入力不要冊数 (製本雑誌等)
63,009		
入力済冊数	遡及入力必要冊数	26,068
33,268	29,741	



■入力対象冊数
□入力不要冊数 (製本雑誌等)



□入力済冊数
■遡及入力必要冊数

(5) NACSIS-ILL と OCLC-ILL との接続の概要

NACSIS-ILL システムを国際標準である ISO ILL プロトコルに対応させ、OCLC (Online Computer Library Center) の ILL システムと接続することにより、NACSIS-ILL に参加する図書館は、OCLC 加盟機関への文献複写依頼と OCLC 加盟機関からの文献複写受付が可能となった。(平成 14 年 1 月に試行運用を開始)

【ILL システム間リンク概念図】

